SDGs新聞	IMV株式会社
いのちやくらしを守るテストのヒミツ	

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは家や学校が、地震でたおれてしまうことを想像したことがありますか？
大きな地震が起きたときに、建物がたおれたり、こわれたりしないかを、前もって確かめる方法があれば安心できますよね。
そこで、いろんなゆれをはかる会社「IMV株式会社」では、「耐震試験」というテストを行っています。
このテストではとくべつな機械を使って、地震と同じゆれを再現して、
机や本棚がたおれないか、建物や橋などがこわれないかを調べることができます。
テストを通して、前もって弱いところを見つけて設計を見直すことができるので、
地震が起きても人や街への被害をぐんと減らすことができるんです。
まさに、いのちやくらしを守るためのテストです。
地震はいつ起こるかわかりません。でも、そなえることはできます。
みなさんの家や学校では、もしもにそなえてどんなことをしていますか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：耐震試験を行う「振動試験装置」
（IMV株式会社HPより）

日本では毎年のように大きな地震があります。大きなゆれで建物がこわれたり、橋が落ちたりすると、多くの人のいのちやくらしが危険にさらされてしまいます。そこで「IMV株式会社」では、地震に強い建物をつくるための「耐震試験」というテストを行っています。このテストでは「振動試験装置」とよばれる特別な機械を使い、実際の地震と同じゆれをつくり、建物の模型や家具、橋の部品などを乗せてゆらし、「どのくらいの力が加わるとこわれてしまうのか」をたしかめます。こうして見つかった、ゆれに弱い部分を強くすることで、「地震に強い建物づくり・街づくり」に役立てています。

「耐震試験」は家や学校・ビル・鉄道など街のあらゆる場所で役立っています

IMVの耐震試験は家や学校だけでなく、ビルや鉄道など、街全体のさまざまな場所でいかされています。試験で手に入ったデータは、防災の研究や技術に役立ち、地震による被害を少なくするための大切な手がかりとなっています。またこうした取り組みは今、日本だけでなく、地震が多い他の国々でも行われています。地震のゆれを正しく知り、「どんな備えが必要か」を考え続けることは、世界中の人々の安心で安全な毎日につながっていきます。

キーワード

耐震試験

地震のゆれをつくり出して、「建物や設備がこわれないか」をたしかめるテストです。

振動試験装置

地震のゆれを再現するための機械です。上下や左右など、いろいろな方向に動かして実験を行います。

防災

地震や火事などの災害にそなえて、被害を少なくするための取り組みのことです。

対象ゴール

みなさんにできること！	
地震や防災について調べて、もしものときにしっかりとそなえましょう。	
おさらい	● IMV株式会社では、「耐震試験」というテストを行っている。 ● 耐震試験では、地震のゆれを再現して、建物や設備の安全性を調べることができる。 ● 耐震試験の結果は、「地震に強い建物や街」をつくるために役立っている。

メモ

SDGsラジオ